

付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成27年1月5～6日に陸奥湾2定点で付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。※4～9月は久栗坂・川内のみ

1 ラーバの出現数

ユウレイボヤラーバの出現数は、奥内沖で1.7個/トン、久栗坂沖で0.6個/トンで、川内沖では見られませんでした。(図1)

オベリア類(通称クサ)のクラゲは、久栗坂沖、川内沖とも見られませんでした。(図2)

その他の付着生物のラーバ等の出現数は表1のとおりで、ザラボヤ、ネンエキボヤは見られませんでした。なお、マボヤラーバが久栗坂沖で3.9個/トン、川内沖で0.8個/トン見られました。

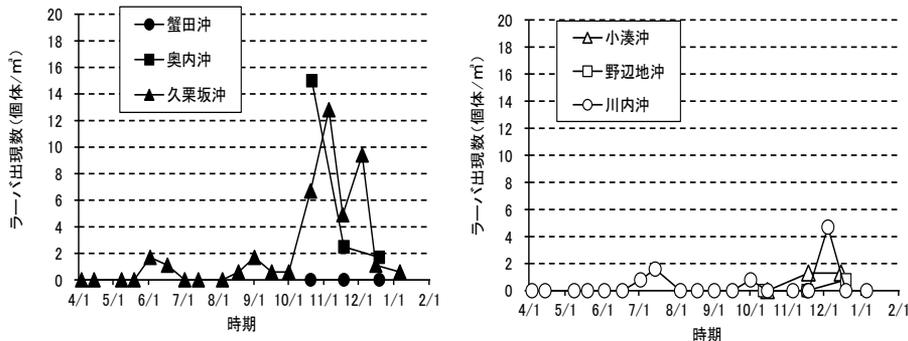


図1 ユウレイボヤラーバ出現数の推移

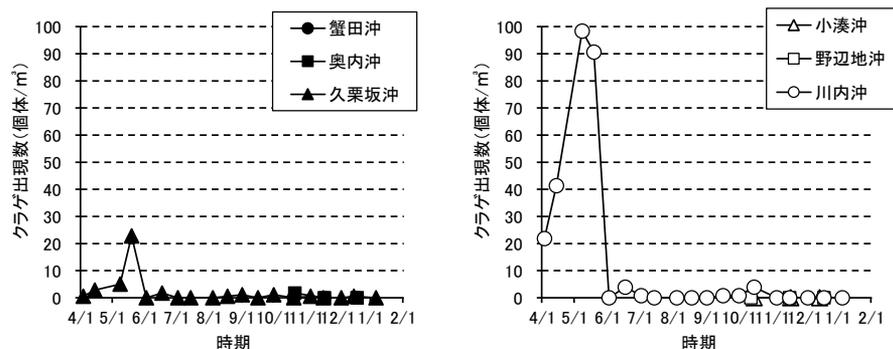


図2 オベリア類(通称クサ)のクラゲ出現数の推移

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	ネンエキボヤ	オベリア類	キヌマトイガイ
久栗坂沖	H27.1.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
川内沖	H27.1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

表2 各ブイの中層における日平均水温(1/8)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	10.4	東田沢ブイ		浜奥内ブイ	6.1
蓬田ブイ		清水川ブイ		川内ブイ	
奥内ブイ	9.0	野辺地ブイ	6.4	脇野沢ブイ	
青森ブイ	8.7	東湾ブイ	6.6		
浦田ブイ					

※奥内、浦田、野辺地、浜奥内は10m層、それ以外は15m層の値

2 水温の状況

各ブイの1月8日の平均水温は表2のとおりです。

3 今後の見込み

ユウレイボヤのラーバの出現数は西湾・東湾ともピークを過ぎており、ラーバの養殖施設への付着はほぼ終息するものと思われます。

また、オベリア類のクラゲは今後出現して来るものと思われます。12月上旬に採取し飼育中の成体(クサ)は、その後もポリプ、クラゲの発生が見られず、クラゲ放出後の古い個体と思われます。

ネンエキボヤも12月上旬に採取した群体を飼育観察しており、群体の中に一部ラーバらしきものの形成が見られますが、ただちに発生しそうな状況には見られません。ネンエキボヤは水温が低い時期は、陸上植物の株分かれのように増殖(無性生殖)し、昨年の場合、春先に水温が上昇する時期にラーバが発生することが観察されています。

キヌマトイガイラーバは2月頃に出現してくるものと思われますので、他のラーバ等と併せて調査していきます。今後のラーバ等の出現動向、付着状況については、次回(1月下旬発行予定)の情報を参考にしてください。



写真1 ユウレイボヤの浮遊幼生



写真2 オベリア類のクラゲ

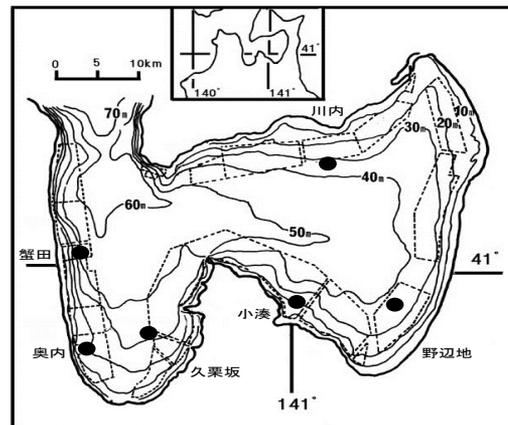


図3 ラーバ調査地点

発行元: 地方独立行政法人

青森県産業技術センター 水産総合研究所

住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL: <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>

ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード(①)

海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード(②)

